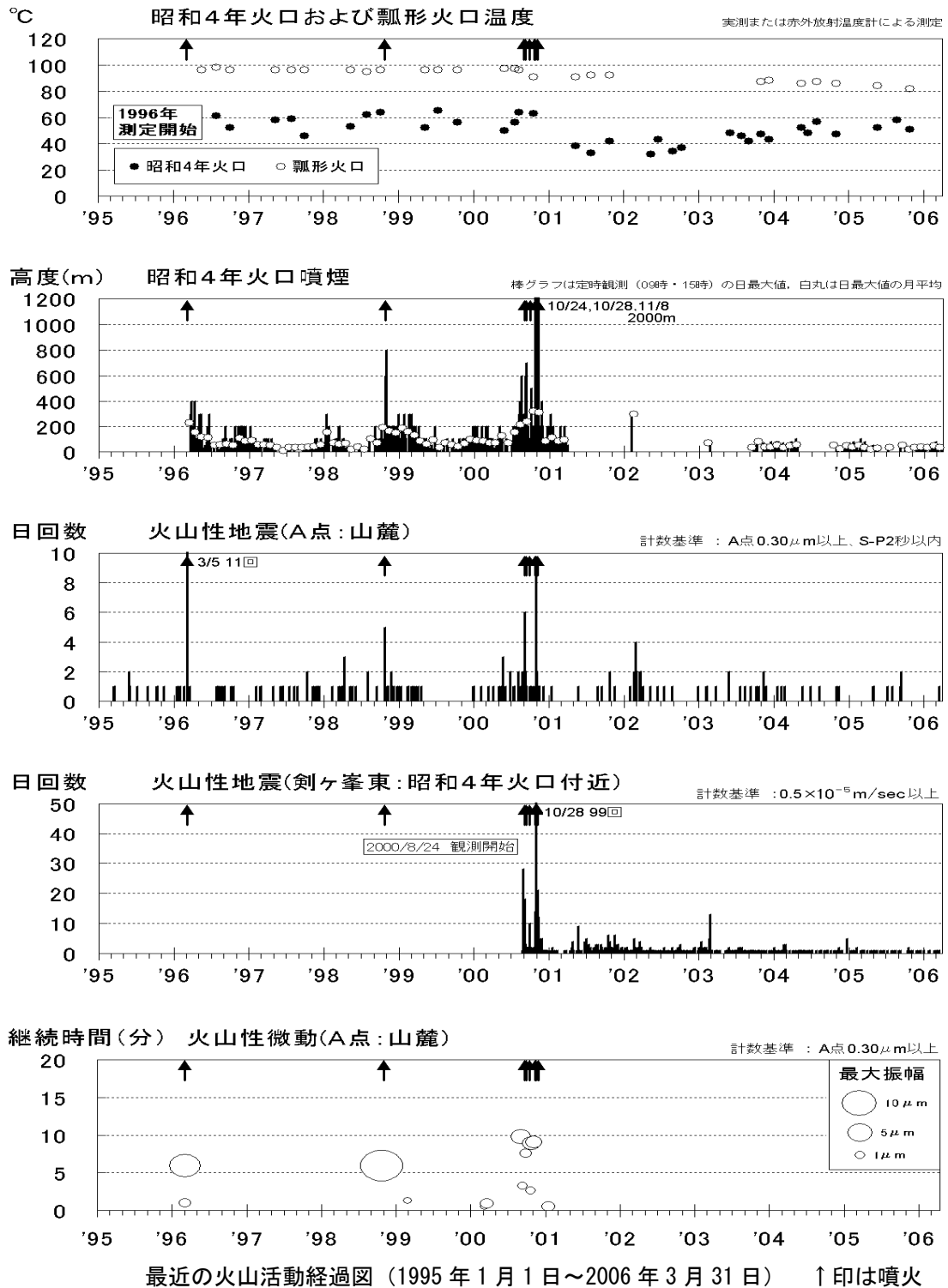


北海道駒ヶ岳

1 概況

火山活動は静穏に経過しています。わずかな山体膨張や、2003 年 9 月以降見られている弱い噴気は引き続き観測されています。



本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています。（承認番号 平 17 総使、第 503 号）

2 噴煙の状況

2003 年 9 月以降、昭和 4 年火口からの弱い噴気がしばしば観測されています。

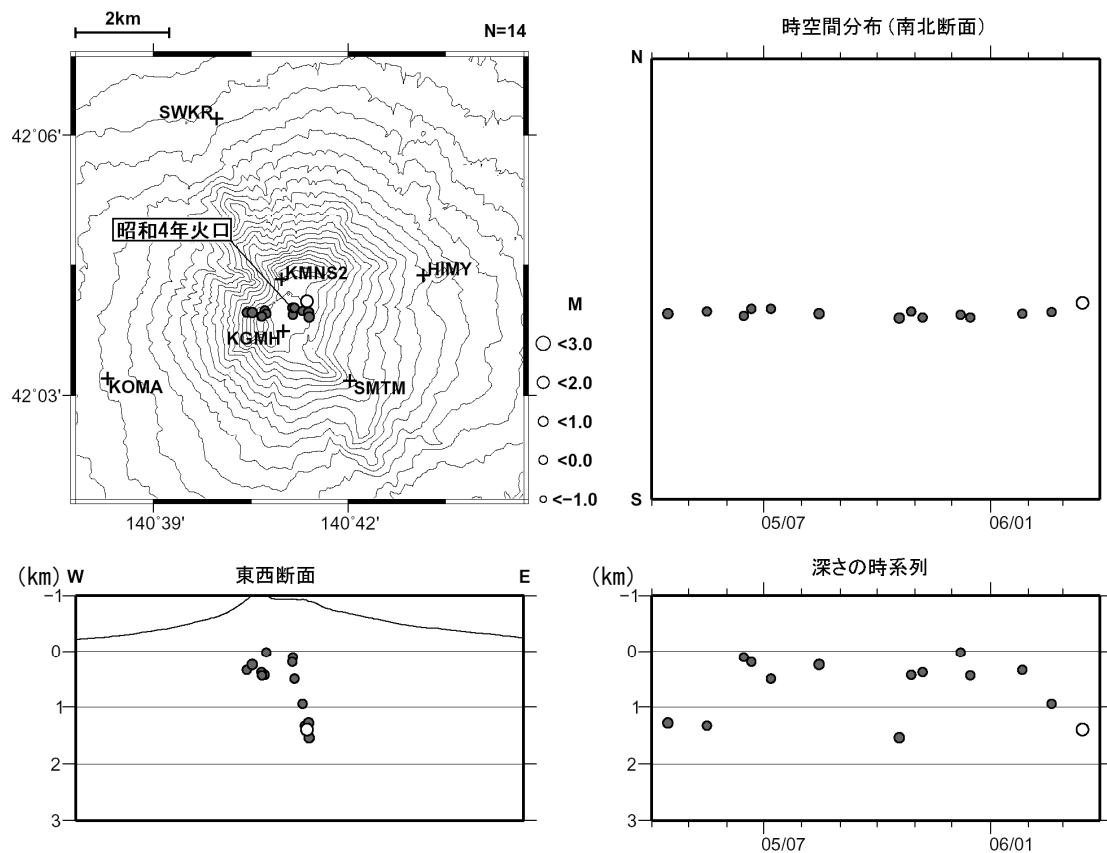
3 地震の発生状況

今期間、A 点（震央分布図中 KOMA）で観測された火山性地震は 1 回でした。山頂の剣ヶ峯東観測点（震央分布図中 KGMH）で観測された微小な地震も少ない状況でした。

火山性微動は観測されませんでした。

地震・微動の月回数（A 点：山麓の観測点 剣ヶ峯東：山頂付近の観測点）

2005～2006 年	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
A 点地震回数	1	1	0	2	0	3	0	0	0	0	0	1
剣ヶ峯東地震回数	2	4	3	3	3	1	4	3	2	3	2	3
A 点微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



北海道駒ヶ岳の震源分布図（丸印：震源 +印：地震観測点）

○印は今期間(2006 年 3 月 1 日～31 日)に求まった震源を示しています。

●印は前期間までの 11 ヶ月間(2005 年 4 月 1 日～2006 年 2 月 28 日)に求まった震源を示しています。

震源は大きく分けて山頂火口原直下の海面付近と海面下 1～2km に分布しています。

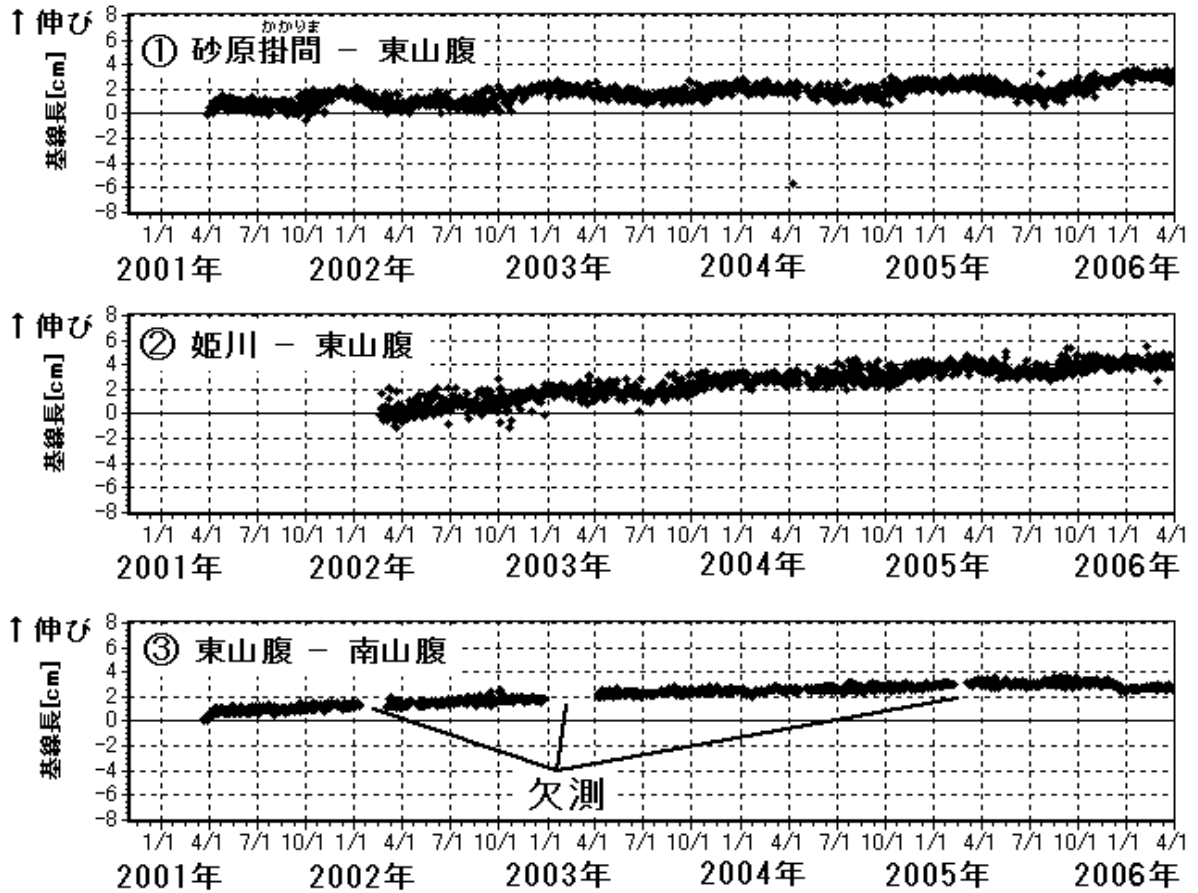
今期間に求まった震源もこの領域内に求まっています。

震源分布図の説明

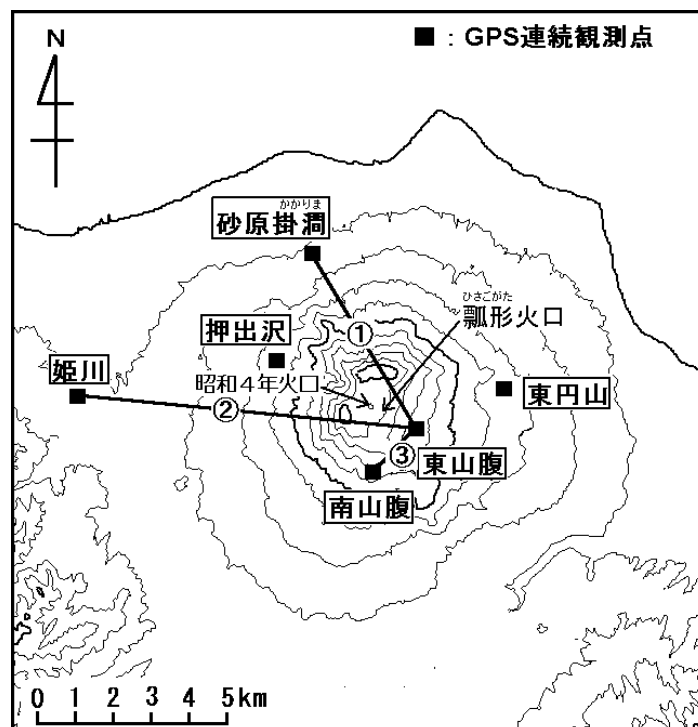
- ・東 西 断 面 : 震央分布で表示された範囲を東西面に投影して、地震の垂直分布を示した図です。
- ・時 空 間 分 布 : 震央分布で表示された範囲を時間経過とともに南北面に投影することで、震央の位置がどのように推移しているかを示した図です。
- ・深さの時系列 : 時間経過とともに震源の深さがどのように推移しているかを示した図です。

4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、季節変動の影響も見られますが、わずかな山体膨張を示す基線長の伸びの傾向が引き続き認められています。



基線長変化 (2001 年 3 月 23 日～2006 年 3 月 31 日)



GPS 観測点配置図